

14.5-80



1200601087481

南洋叢書第九卷

36

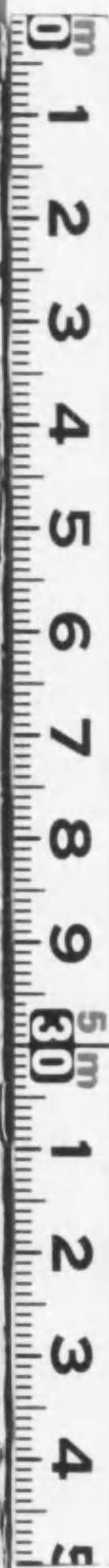
比律賓群島に

於ける

農業の發達と對米貿易關係



南洋協會支那部



始



本書は A Review of Philippine Agriculture and Philippine Trade Opportunities in the United States. By P. J. Wester (The Philippine Agricultural Review Vol. XIII. No. 1. 1920.) を抄譯せるものにして、單に比律賓の農業及比米間の貿易關係を知るに便なるのみならず、廣く熱帶地農業開發上參考となるべき點多からず、故に之れを印刷に附し以て謄寫に代ゆ。

大正九年九月一日

南洋協會臺灣支部

目次

一 緒言.....	一
二 米.....	九
三 アバカ.....	一一
四 古々椰子.....	一四
五 甘蔗糖.....	一七
六 玉蜀黍.....	一九
七 煙草.....	二〇
八 畜産物.....	二二
九 今後有望なる農産業.....	二四
一〇 結論.....	三〇

目次

第一章 比律賓群島の地理的位置 一

第二章 比律賓群島の歴史 一〇

第三章 比律賓群島の農業 一七

第四章 比律賓群島の貿易 二七

第五章 比律賓群島の人口 三三

第六章 比律賓群島の政治 三九

第七章 比律賓群島の文化 四四

第八章 比律賓群島の宗教 五〇

第九章 比律賓群島の教育 五五

第十章 比律賓群島の衛生 六一

第十一章 比律賓群島の交通 六六

第十二章 比律賓群島の産業 七二

第十三章 比律賓群島の労働 七八

第十四章 比律賓群島の社会 八四

第十五章 比律賓群島の将来 九〇

比律賓群島に於ける農業の發達と 對米貿易の關係

緒言

田中秀雄

比律賓群島は支那海及太平洋の間に横たはる三、一四一の島嶼より成り面積十一萬九千五百四十二平方哩海面七十萬平方哩中に散在し人口一千萬あり之れを米國と比較するに「ニューヨーク」「ペンシルバニア」「ニューゼルシー」「マリーランド」及「デルウエア」州を合せたるものより少しく大なり。

二箇の大なる島は北に「ルソン」南に「ミンダナオ」島あり前者は其の面積四萬九百六十九平方哩後三萬六千二百九十二平方哩あり次に主要なる「サマール」「ネグロス」「バナイ」「パラワン」「ミンドロ」「レーテ」「セブ」「ボホール」及「マバテ」等の諸島あり其の面積五千三十一平方哩より千二百三十六平方哩の間にあり其他多數の小島あれども農業上の價値少し。

比律賓群島は火山系に属し、大小起伏の連峯中噴火せるものあり、之等群山の間には多くの肥沃なる土地を包擁す、殊に「ミンダナオ」島は土地廣く肥沃にして海拔三〇〇乃至九〇〇米突の平地あり、何れの島も皆其の傾斜の状態緩にして農耕に適せざるなし。

氣候は順和にして極端ならず、唯其の高低に依る温度の差は比較的大なり。

最小降雨千三百耗、最多地三千九百耗あり、「セブ」島、「ミンダナオ」及「スル」群島の西北兩部は平均年雨量二千耗あり、殘餘の北、東、西海岸は年雨量二千耗以上あり、大なる島の内部低地は稀れに二千耗に過ぎざる事あり、斯る地方に於ても高地に到るに従ひ降雨量増加するを常とす、即ち北「ルソン」ペンゲットに於ては海拔千四百米突の箇所、に於て四十耗の降雨あり、「ミンダナオ」の東北部「サマール」の東部「ルソンの東部及東南部地方」にありては平均年雨量三千耗あり、「スル」群島「ミンダナオ」の半ば「東北の一角を除き」及「パラワン」は颱風圏外にあり。

比律賓群島に於ける農耕地は全面積の十二%あり、何れの地方も土地は公有にして公法の下農場設定を行ひ得べく、又一企業者にて千二十四「ヘクタール」を越えざる程度にて買收借地を行ひ得べし、然れども所有主なき大面積の耕地を得んと欲

せば「ミンダナオ」「パラワン」及「ニウエバ」「ベチカイア」及「マウンテンプロビンヌ」に求めざるべからず。

一九一八年比律賓群島に於ける主なる作物は米、アバカ、マニラ麻、古々椰子、甘蔗、玉蜀黍、煙草、マゲ、「カカオ」及珈琲等とす、今農務省の調査せる統計より之等農作物の作付面積及生産高等を列舉せば左の如し。

第一表 一九一八年比律賓に於ける主要農作物

生産物名稱	地方市場に於ける價格
米	一三五、一六三、三七五
「アバカ」	九二、四九三、二二三
椰子生産品	四一、一五八、七七八
砂糖生産品	五六、五三三、七九三
玉蜀黍	二一、三七二、一二三
煙草	一五、二一九、一五五
「マゲ」	三、七〇七、二二三
「カカオ」(推算)	五二〇、六七〇
珈琲(同)	四四五、九八三

同上年間比律賓に於ける主なる輸出品を舉ぐれば左の如し(關稅報告に依る)

第二表 一九一八年に於ける比律賓島重要輸出品

品名	價格
アバカ	一一七、九六一、九六九
古々椰子產物	七三、七〇二、六〇一
砂糖	三一、六〇八、七八〇
烟草類	二七、一五〇、六二六
刺繻類	四、三六一、三五二
マゲ	三、七三六、一〇八
索	一、七三三、九六八
帽子	一、一八三、四四六
木材	六三八、九八九
貝類	五二二、三九八
眞珠類	一七七、七八五
魚類	一五一、四一九
護謨及樹脂	一五〇、六五七
石栗油	一二九、八三八
果實(新鮮)	七八、四〇一
護謨(粗製)	七五、二一〇

同年中に於ける全輸出價格は二億七千三十八萬八千九百六十四ペソなりき

今比律賓島が米國に對し貿易上如何に重大なる關係を有するかを知らんがため一九一六年六月三十日末の會計年度に於ける同年中の熱帶產物輸入品名價額を米國商務省出版米國に輸入する商品中より特に比律賓島に於ける氣候風土に顧みて生産し得べき可能性を有するものを選び左に掲げん最近の同報告に依れば必ずや一般の輸入増加を示し居るべし。

第三表 一九一六年北米合衆國に輸入せる熱帶地產物

商品名	價格
砂糖及糖蜜	二二二、五二三、〇〇〇
護謨(粗製)	一五五、〇四五、〇〇〇
絹絲(未製品)	一一九、四八四、〇〇〇
珈琲	一一五、四八六、〇〇〇
黄麻及其製品	四七、四三〇、〇〇〇
綿(未製品)	四〇、一五〇、〇〇〇
サイザルヘンブ	二五、八〇三、〇〇〇
茶	二〇、六〇〇、〇〇〇
烟草(未製品)	一四、六一九、〇〇〇
マニラ麻	一四、〇六七、〇〇〇
藍	八、二三六、〇〇〇
古々椰子及同產物(油を除く)	七、一二二、〇〇〇

椰子油	六、〇四七、〇〇〇
米(穀及玄米)	五、〇八三、〇〇〇
胡椒	四、五〇五、〇〇〇
葉巻烟草及紙巻烟草	四、八一五、〇〇〇
マンビコ纖維	三、九〇五、〇〇〇
椰子油(亞弗利加)	二、七九八、〇〇〇
サゴ及マヒサカ	二、二二七、〇〇〇
椰子油	二、〇六二、〇〇〇
椰子油	一、九七八、〇〇〇
枸橼酸石灰	一、九五六、〇〇〇
規那	一、八九六、〇〇〇
華尼爾拉	一、六九八、〇〇〇
カボック	一、一四〇、〇〇〇
蓖麻	一、五五六、〇〇〇
落花生	一、〇五一、〇〇〇
ブラジル胡桃	九〇七、〇〇〇
蜜蠟	五四九、〇〇〇
薑(乾燥)	五四〇、〇〇〇
椰子油	四四二、〇〇〇
椰子皮纖維	三六五、〇〇〇
蜂蜜	九七、〇〇〇
柑橘	八九、〇〇〇
計	八三六、二九六、〇〇〇

以上の品目中には之れを比島に於て栽培生産せんとするに當り精巧なる機械を要するものあり又其の種苗は之れを外國より輸入せざるべからざるものあり故に本島農業の開発は須らく先づ其の商品の生産に障害なきものより之れを著手せざるべからず斯くして新たなる植物輸入せられ其の生産に従事するに到らば比較的短期間に農産を増殖する事を得ん。

之等の生産物中には既に其の幾分を本島に於て生産し居るものあり即ちアバカ、砂糖、古々椰子生産物(コブラ)及椰子油、椰子皮纖維、烟草、護謨、珈琲、茶、マゲ、藍、綿、サゴ澱粉、綿、落花生、蜂蜜及蜜蠟等之れなり。

農産業の發達旺盛にして産物豊かなる爪哇は其の氣候風土の状態比島と相似たり此の意味に於て爪哇農産業發達の状態を知るは比島農業開發上多大の参考と成る今次に一九一四年爪哇より輸出せる農産物の統計を示す。

第四表 一九一四年爪哇農産物輸出統計

農産物品名	價格(單位フロリン)
砂糖	二二六、五五二、四二五
茶	四六、四一五、一六八
珈琲	二四、二〇九、八四四

糖	二一、九九四、〇六一
「コブラ」	一一、三七三、五九七
「キヤスサバ」製品	六、九三七、〇〇〇
規那	六、二〇八、三八五
「カボック」	五、九七五、〇七〇
玉蜀黍	五、九四七、一八一
「サイザルヘンブ」	五、〇六三、四〇二
米	四、〇三七、六〇九
胡椒及薯蕷茄	三、九五八、一七四
「アルコホール」	二、六三一、二八九
椰子油	二、三五四、一〇四
藍錠	二、三〇〇、七四七
落花生	一、七八六、七五四
帽子	一、七四八、六七一
「カ、オ」	一、一七〇、八一六
檸檬油等	九七九、二五四
植物油原料	七五六、四四〇
糖	四八七、八二一
「ダマール」	四七七、六六六
「サイザルヘンブ」及「カボック」以外の植物纖維	四三七、三〇七
果實(生、乾)	四一七、一〇一
「カ、オ」製品	三六九、七八一
「アラック」	二六五、四八四

薑其他の香辛料	三五三、〇〇〇
馬鈴薯	三三九、一二八
植物油	三二二、〇九九
蓖麻子油	二二三、三二〇
計	三七七、一九五、六九八

之等の輸出品は何れも自國の總ての食料品を供給したる殘餘にして約三千五百萬の住民が自給し得たる後其の過剩の産物を海外へ輸出するものなり。第三及第四表を對照する時は甚だ興味ある事實を發見し得べし。即ち輸出國及輸入國の産物は其の價格を別として互ひに相同じきを知るべし。米國に對する比律賓の貿易状態は本群島に於ける主要農作物の發達に鑑み將來多大の注意と興味ありと云ふ可し。

二 米

極東諸國に於けるが如く比律賓群島に於ける米作は重要物産に屬す。即ち當地農産物中最大の價額を占む。

本群島に於ける米穀生産の状態は次表に示すが如く過去九箇年の作付面積、收

米

米 一〇

穫高及同價格の統計に依り之れを知るを得べし。
 一九一一年及一九一二年に於ける作付面積の激減せると一九一四年に到り新記録を作りし外其の面積に於ては大なる變動なし、一九一七年には大増加を示し同年以降益々増加の形勢なり。

第五表 比律賓群島に於ける米の生産

年次	作付面積	收穫高	價格
一九一〇年	一、一九二、〇〇〇	一四、一四四、三二四	六〇、六一一、〇〇〇
一九一一年	一、〇四四、〇〇〇	一五、三九七、五七二	六五、九九二、〇〇〇
一九一二年	一、〇七九、〇〇〇	八、七一六、八五一	四二、三〇六、〇〇〇
一九一三年	一、二四一、〇〇〇	一八、三七四、一四三	六一、七三七、〇〇〇
一九一四年	一、二四五、〇〇〇	一七、〇五二、六一〇	六〇、九二五、〇〇〇
一九一五年	一、一三一、〇〇〇	一三、三六三、八六七	五二、〇七九、〇〇〇
一九一六年	一、二四一、〇〇〇	一五、六五九、一四八	六二、一八七、〇〇〇
一九一七年	一、二二六、〇〇〇	二一、二〇七、五三七	八一、三七八、〇〇〇
一九一八年	一、三六八、〇〇〇	二六、八四六、二八四	一三五、一六三、〇〇〇

比島に於ける米の主要産地は「バンガシナン」「ンクエバ、エター」(Nueva Ecija)イロイロ「バムパンガ」「ターラック」「アラカン」及「カピス」等の地方なり。
 群島生産の米のみにては彼の錫蘭島の如く島内の消費を充たす事能はずして

毎年印度支那より多量に輸入しつゝあり。

群島米産の増加策は米國が本島を領有以來常に島政府の主要問題とせられ居れり、而して又今後數年間米の輸入は繼續するならんも過去に於ける甲當米收穫高の寡少なる事分明せらるゝに到り漸次其の輸入額は減少の状態にあり。

近代的農具の使用及「コツタパトウ」等に於ける灌漑工事の施設に依り今後耕作法の改良と作付面積の増加行はるゝに到らば本島米産額の増加は又期して待たるゝものあらん殊に「コツタパト」に於ける三角洲の浚渫は同地並に「ンクエバ」「スカイア」及「ンクエバエスヘ」に於ける氾濫地方をして全く其の患なからしむに到らしめ生産に著大なる増加を見るに到らん。

三 アバカ

アバカ即「マニラヘンプ」は比律賓重要農産物中第二位にあり、群島輸出品中第一位を占め世界に於けるアバカ纖維の主なる給源を爲す。

過去九年間に於て其の栽培面積は著しく増加せり、其後一九一一年より一九一四年迄其の栽培面積は減少せるも最後の三年間に於て又再び増加せり、一九一〇

年及一九一一年は纖維生産の最盛時に達せざりきアバカの價格の増進せるは生産物の價格昂騰せしに依る。

第六表 比律賓群島に於ける「アバカ」の生産

年次	作付面積	生産高	價格
一九一〇年	四七五、〇〇〇	一六八、四五二	二六、九五二、〇〇〇
一九一一年	四〇四、〇〇〇	一七一、八八〇	二七、五〇一、〇〇〇
一九一二年	四三三、〇〇〇	一五九、四七三	二八、七〇五、〇〇〇
一九一三年	三六八、〇〇〇	一四〇、五二〇	三二、三二〇、〇〇〇
一九一四年	四三七、〇〇〇	一三七、六三六	二九、九六八、〇〇〇
一九一五年	四五八、〇〇〇	一五四、一九二	三〇、四二一、〇〇〇
一九一六年	五〇〇、〇〇〇	一五二、七五六	四二、七六七、〇〇〇
一九一七年	四八八、〇〇〇	一六〇、九五三	六三、五九八、〇〇〇
一九一八年	五二二、〇〇〇	一六六、八六三	九二、四九三、〇〇〇

「レーテ」「アルバイ」「ソルソゴン」「アムボス」「カマリネス」「サマール」及「ダバオ」等は比島に於ける「アバカ」の主要産地なりとす。

「アバカ」業は主として比律賓土人に依りて營まる。米國人の多數も「アバカ」業に従事するものあれども甘蔗業の隆盛なるに比すれば其の差同日の談にあらず又多數の日本人資本家は主に「ダバオ」に於て「アバカ」栽培に従事し居れり。

「アバカ」纖維の需要激増と一九一六年及一九一七年に於ける價格の昂騰は其の栽培面積の急激なる増加を招來したるが然れども一九一〇年に於ける作付面積を左程超過する事なし。雖然今後其の進展は大なるものあるべく發達の余地充分なり。「ダバオ」及「コッタバトツ」の二大「アバカ」産地は特に其の將來の發展多大なるものあるべく豫期せらる。

世界經濟界に於て砂糖、護謨及珈琲は比島に於ける生産にては重要な位置を占むる能はざるべきも「アバカ」に到りては其の栽培發展の余地多大なるものあり。其他最近に發展せる「サイザル」及「マゲ」等の「ヘンプ」等は常に小面積の耕作者に依りて生産せらる。之等の纖維植物は最近數年間に於て未曾有の發展を見たるも之等は「アバカ」及古々椰子の如く多量の産出を見る事不可能なるべし。比律賓群島は「アバカ」を印度は黃麻を兩者各々世界に於ける之等作物の獨占者たるを得べし。彼の和蘭政府は爪哇に於て黃麻を獎勵耕作せしめたるも到底印度と相匹敵する事能はざる事を知り其の計劃を放棄するに到れり。比島に於ける黃麻業の將來に就て考ふるに米國に於ける黃麻及同織物の年輸入額は一三、二〇〇、〇〇〇弗にして「アバカ」と伯中の間にあり。本島に於ける黃麻は其の栽培に適せる地

少なからず將來に於て注意すべき作物たるべし。

四 古々椰子

往昔古々椰子は難破船、海賊船及南洋の海賊船の物語りの中に出でたるに過ぎざりしが、近世に到りては熱帯地に於ける最も重要な作物の一なるに到りぬ。古々椰子は所謂農業時代以前に於て比律賓土人に於り著しく栽培せられ食料として消費せられ居たり。此の故に比律賓は其の出發點より既に世界に於ける「コブラ」供給に有利なる地歩を占め居たるなり。比律賓群島は世界に於ける三大椰子生産地の一にあり、蘭領東印度、馬來聯邦に次ぐ重要産地にして馬來と比島の生産は其の差大ならず、彼に劣る事一步のみ。又比島に於ける古々椰子は現今既に輸出品中第二位を占め居れり。

今左に最近九年間に於ける比島古々椰子栽培の發展の狀況を示さん。

第八表 比律賓に於ける古々椰子

年次	樹	生産額	古々椰子生産物の總價額
一九一〇年	三三、八三九、〇〇〇	一一八、一四一	二六、一六二、〇〇〇

一九一一年	四一、六九五、〇〇〇	一一八、三三三	二六、二六一、〇〇〇
一九一二年	四六、一三六、〇〇〇	一七四、〇三六	三五、九二七、〇〇〇
一九一三年	四四、六四二、〇〇〇	一一六、七〇〇	三〇、五三六、〇〇〇
一九一四年	四九、一九〇、〇〇〇	一〇七、三三三	二四、六五二、〇〇〇
一九一五年	五二、七九五、〇〇〇	一七一、五七四	二四、四六二、〇〇〇
一九一六年	五四、一五四、〇〇〇	一四一、七六四	二四、四三一、〇〇〇
一九一七年	六〇、二四四、〇〇〇	一八六、五一一	三一、九七五、〇〇〇
一九一八年	六九、二二〇、〇〇〇	三四六、六五七	五六、五三四、〇〇〇

一「ヘクター」には椰子平均二百本を栽植す、比律賓群島に於ける古々椰子の栽培面積は約三三五、〇〇〇「ヘクター」あり。

過去五箇年間に比島椰子栽培の面積は著しく増加せるも其の生産物の價格は一九一三年より一九一六年迄寧ろ低下の傾向あり。一九一三年及一九一四年に於ける「コブラ」生産の激減は未曾有の早魃ありしに依る。大戦に依り「コブラ」及椰子油の價格は低落を來せしも其後再び回復の狀態にあり。

古々椰子栽培の面積生産額及其の價格は昨年より又特に増加し該産物の將來發展上多大の好望を豫期せらる。

比島に於ける重なる「コブラ」の生産地は「タイヤパス」「ラグーナ」「サンボアング」「サマ

ール「アルバイ」ミサミス「セブ」及「ポホール」の八箇所なり。

古々椰子の栽培及「コブラ」製造は主として比律賓土人の手に依りて行はれ居れり。然れども米人經營の椰子園も亦著しく好成绩を收め居るものあり。

古々椰子栽培に關する著書中一九一一年比律賓内務長官「ウヲルスター」氏は述べて曰く「比島に於ける農業企業中今後十五年間に比較的少なる投入資本に對し利潤の回收大なるものは將に古々椰子を措いて他に求むべからず。」此の言は比律賓に於ける權威ある農學者の一人として既に故人と成れるW. S. ライオン氏の意見と一致せるものにして氏は「比島に於ける熱帯農業及園藝作物中古々椰子栽培に及ぶものなかるべし」と云へり。

錫蘭及爪哇の如き古々椰子大栽培地に於けるが如く比律賓に於ても最近種々の相異なる古々椰子搾油機を設置するに到れり。古々椰子油の基礎確定するに到らば「コブラ」の輸出は従前の如く盛んなるに到らざるべし。

面積二萬五千平方哩の錫蘭島は土質氣候左程有利ならざるに尙能く茶、護謨其の他の農産物の多量を輸出し「コブラ」及椰子油の輸出額殆んど比律賓と同額なり。本島將來に於ける古々椰子生産に就て此の間の消息は玩味すべき事ならずとせ

ず。比律賓群島に於ては古々椰子栽培に適せる土地少しとせず。歐洲大戰終熄し經濟界の状態平常に復するに於ては「コブラ」及椰子油の需要は急激に増加すべく比島古々椰子業又急速の發展を見るに到らん。

比島に於ける古々椰子栽培は「アグサン」「コツタバト」「ダバオ」「サンボアンガ」及「サマール」に於て最初に著手せられ將來の生産も亦之等の地方著大なるべく殊に「アグサン」「コツタバト」「ダバオ」の三地は「コブラ」の生産最多なるに到らん。

北米合衆國に輸出する「コブラ」は「オセアニア」に於ける佛領殖民地最も多く比島之に次ぐ。又其の大部分は「ポリネシア」に於ける英領及前獨領の殖民地より輸入せらる。更に米國へ輸出する椰子油は比島第一位にして蘭領英領及日本等の殖民地よりも多量に輸出せらる。

米國の輸入する椰子皮纖維は主として英領印度にして今後「コブラ」及椰子油製造の副産物として該纖維の利用は比島に於ても考慮を要す。

五 甘蔗糖

甘蔗糖は比島輸出品中第三位に位する重要産物にして農産物としても同様の

地位にあり、過去九箇年間に於ける比島甘蔗糖業發達の状態は次表に依り之れを見るを得べし。

第七表 比律賓群島に於ける甘蔗糖業

年次	栽培面積	砂糖生産高	砂糖生産物の總價格
一九一〇年	八三、〇〇〇	一五二、六三九	一五、二六三、〇〇〇
一九一一年	一二〇、〇〇〇	二四三、九二五	二四、三九二、〇〇〇
一九一二年	一六四、〇〇〇	二五五、二四三	二六、四二八、〇〇〇
一九一三年	一七六、〇〇〇	三一一、〇五一	二五、六九八、〇〇〇
一九一四年	一六九、〇〇〇	三七〇、四四三	二八、六三一、〇〇〇
一九一五年	一七三、〇〇〇	三八二、一〇三	三三、二二二、〇〇〇
一九一六年	一八〇、〇〇〇	三七四、〇一二	三四、一三六、〇〇〇
一九一七年	一八六、〇〇〇	三八五、七九八	三八、七〇五、〇〇〇
一九一八年	二〇六、〇〇〇	三九六、二四三	四一、一五九、〇〇〇

本表に依り見るが如く比島に於ける甘蔗糖業は著々として増加の趨勢にあるものにして今後十年間に於て更に大なる増加を示す事は疑ひなき事なり。

比律賓群島中砂糖の主なる生産地は「西ネグロス」「パンパンガ」「バタンガス」「イロイロ」「ターラック」及「ラグナ」等なりとす。「ゴツタバト」「ンウエバ」「ベスカイア」及「プキドノン」の南部地方は恐らく現今に於ける甘蔗糖業の發達の好望地ならん。

甘蔗作は比律賓土人にとりては最も一般的なる經濟的作物にして米國資本家も亦本業に對し最も多く投資せり。ネグロ島は比律賓群島に於ける砂糖生産の中心なり。砂糖生産額の増加は舊式工場に代ゆるに新式壓搾機械を設立せしと、甘蔗栽培法の改良及爪哇布哇及「ルイジアナ」等の主要甘蔗産地より新品種を輸入せしに依り穫られたるものなり。斯くして今後數年ならずして比島に於ける砂糖の輸出高は急速なる進展を見るに到らん。

六 玉蜀黍

比律賓群島に於ては一九〇五年迄玉蜀黍は重要輸入商品として毎年外國より供給せられ居たり。其後島政府は其の輸入防遏の手段を講じ今や玉蜀黍は本島重要農産物中第五位にあり。今過去九箇年に於ける比島玉蜀黍の生産高を表示すれば左の如し。

第九表 比律賓群島に於ける玉蜀黍の生産

年次	栽培面積	生産高(脱穀)	同上價格
一九一〇年	二八八、〇〇〇	一、八五一、〇〇〇	八、六六一、〇〇〇
一九一一年	三〇三、〇〇〇	一、八六四、〇〇〇	八、七二四、〇〇〇

玉蜀黍

烟草

一九二二年	三四〇,〇〇〇	二,七五〇,〇〇〇	一一,八六八,〇〇〇
一九一三年	三八四,〇〇〇	三,二五五,〇〇〇	一五,二三一,〇〇〇
一九一四年	四二一,〇〇〇	四,七〇〇,〇〇〇	一五,八七四,〇〇〇
一九一五年	四四三,〇〇〇	五,一八一,〇〇〇	一六,〇六八,〇〇〇
一九一六年	四三二,〇〇〇	四,九六三,〇〇〇	一四,七二四,〇〇〇
一九一七年	四二八,〇〇〇	四,七三七,〇〇〇	一七,六四〇,〇〇〇
一九一八年	四一八,〇〇〇	三,九七一,〇〇〇	二一,三七二,〇〇〇

二〇

斯くの如き多量の玉蜀黍は總て米の代用品として消費せらる。前表に依り見ることが如く一九一五年は玉蜀黍の生産最盛時に達し其後漸次栽培面積少しく減退の狀態にあり。

比島中玉蜀黍の生産最も多き地方は「セプー」「東ネグロス」「イサペラ」「レーテ」「カガヤン」及「メサミス」等なり。

七 烟草

烟草は比島重要産物中第六位にあり、今其の生産額を表示する時は左の如し。

第十表 比律賓群島に於ける烟草の生産

年次	栽培面積	葉生産高	價格
一九二〇年	五三,六〇〇	二八,〇〇六	四,二〇一,〇〇〇
一九一一年	六九,〇〇〇	二五,五一八	三,八二八,〇〇〇
一九一二年	五七,〇〇〇	二九,五八三	四,四三七,〇〇〇
一九一三年	六九,〇〇〇	四六,〇六〇	六,九〇九,〇〇〇
一九一四年	九〇,九〇〇	四六,七三一	七,一〇九,〇〇〇
一九一五年	五三,三〇〇	三八,三〇三	五,六八五,〇〇〇
一九一六年	五八,九〇〇	四一,一三九	七,二五九,〇〇〇
一九一七年	六一,八〇〇	四八,九二九	一〇,八八四,〇〇〇
一九一八年	七八,四四三	六一,五五五	一五,二一九,〇〇〇

前表に依りて見るが如く一九一七年の終り迄八箇年間烟草作は毎年移動なかりし事を知る然れども其の價格の昂騰栽培法の改良優良品の産出に依り其の産額は毎年増加するに到れり。昨年は作付面積及生産高とも異常の進展を見加之價格昂騰のため大なる利益を收め得たり。烟草作は多少とも比島到る處栽培し得べく外國へ輸出する事なきに於ては比島消費の全額を供給する事を得、比島に於ける烟草作は其の全量の半ばは「ルソン」島の東北部なる「イサペラ」及「カガヤン」より産物し之に次ぐ重要産地としては「ラ、ユニオン」及「セプー」地方なり。

調製可良なる比律賓烟草は其の品質特に優良にして「マニラ」葉巻に於て殊に然り。然れども其の名は米國其他の諸國に於て特に有名なるに到らず之れ製造工場

の缺乏に因るならんか。北米へ輸出する主なる烟草は現在にては「キューバ」及「蘭領東印度」最たり。

八 畜産物

牛疫の流行を見るに到りし以來比島に於ける畜産業は危険となりたるも其後諸種の設備改良せらるゝに及びて肉用及役用の家畜類の輸入は過去數年來俄かに減少するに到りぬ。一九一八年に於ては其の輸入價格二二一〇〇〇ペソなりき。比島に於ける畜産業は有利なる農業の一なり。全島到る處其企業を行ひ利益を擧ぐる事を得べしと雖も大規模の企業に適する地方は「アキドノン」「コツタバト」「ラナオ」及「ソウエバベスカイア」等なりとす。之等の地方は平原地にして年中牧草の繁茂絶へざるの得點あり。

比島に於ける畜産業は西班牙及米國人に依り幾分經營せらるゝと雖も其の最も多くは比島土人に依り營まる。

比島に於ける家畜は農業上に利用せらるゝ、事少く多くは車の軌引乗用等に用ひらるゝ。「パツタンガス」は優良なる「ボニー」の輸出地として令名高し。優良種系の輸入

に依りて比島土産の「ボニー」も漸次改良せられつゝあり。

畜種の改良は馬のみならず豚、禽類、綿羊、山羊等にも行はれ居れるが比島に於ける畜産業は群島經濟上重要ならず。

比島畜産の状態は次表に依りて之れを見るを得べし。

第十一表 比律賓群島に於ける畜産物

年次	カラバオ	其他の家畜	價	格
一九一〇年	七五六、七二四	二六九、九六三		
一九一一年	八六三、六四九	三一五、四九五		
一九一二年	九五八、五二二	三六二、二三〇		
一九一三年	一、〇四七、一六四	四一八、一一四		
一九一四年	一、一四七、四三三	四七七、七三六		
一九一五年	一、二二一、八六六	五三四、一〇六		
一九一六年	一、二二八、八三六	五六六、一九九		
一九一七年	一、二七一、二〇七	六〇二、七五六		

第十二表 比律賓群島に於ける家畜統計の二

年次	馬 及 騾	豚	羊 及 山羊	價 格
一九一〇年	一四二、六〇四	一、六八一、五五〇	五三五、六二一	
一九一一年	一五一、六九六	一、七〇三、〇七八	五四八、六三二	
一九一二年	一七〇、八六一	一、八八八、一二二	五七四、四五〇	

一九一三年	一七九、〇八九	二、〇一六、七三六	六三二、三二七
一九一四年	二一五、八二六	二、二八五、八八〇	七一〇、〇五二
一九一五年	二二三、一九五	二、五二一、一四三	七七三、四九六
一九一六年	二〇三、四三〇	二、七三四、六八四	八〇三、二五四
一九一七年	二一四、二〇四	二、八一〇、七三七	八七八、三五九
一九一八年	二三四、一二五		九〇六、七六八

九 今後有望なる農産業

北米に輸入する熱帯重量産物中比島に於て將來之れを栽培し得べきものは護謨、珈琲、茶、カカオ、胡椒及規那等なり。

比島に於ける各地相異なる土壤及氣候は前記總ての作物の栽培に適す。既に試験せられたる成績に依れば護謨及珈琲は優良なる結果を得、茶及規那樹又其の生産に適す。カカオは比島に於ける適地莫大なる面積ありと雖も惜むらくは該樹が病蟲害に罹り易きの缺點あり將來に於ける大發展はその點に於て抑止せらるゝ事なきや保し難し。

茶は西班牙人に依りて齎され規那は數年前爪哇より輸入せり然れども兩者とも未だ其の事業を營むものなし。著者は一九一五年爪哇に於ける茶及規那の産地

を訪れたる處に依り考ふるに比島に於てもルソン島、マウンテン、プロビンスの高地に於ては必ずや規那樹の生育可良なるものあるを信す。而して又茶樹は同様に「ミンダナオ」の高地及「ソウエバ、ベスカイア」地方に於て好適なるべしと信す。

北米合衆國に於ける茶は多く日本支那及英領印度より輸入す。又爪哇より仰ぐもの少なからず。

比島に於ける胡椒は往昔西班牙人に依り齎されたり。該作物は小規模の栽培に適するものにして蘭領東印度の土人及支那人に依り大なる利益を獲得しつゝ、あり比島に於て胡椒を栽培するに到らば現今熱帯亞細亞に於ける蘭領及英領殖民地に依り米國に供給せられ居れる數量は容易に比島より供給する事を得べし。比島に於ける珈琲は一時旺盛を極め又其の品質優良なりしに依り世界市場に於て聲價高かりしも病蟲の被害大なりしたため爪哇及錫蘭に於ける珈琲と共に數年ならずして全く荒廢するに到りぬ。

蘭人は數年間の試験研究に依り爪哇に於て更に珈琲栽培を試み病蟲害に對する抵抗力強壯なる品種を栽培し其の品種又彼地土壤及氣候に適するもの各種を選擇栽植するに到りぬ。斯くして比島に於ても之等抵抗力強き品種を爪哇より輸

入試作せしに其の結果佳良なるものあり島政府の奨励に依り近時益々發展の徴あり比島に於ける珈琲栽培の適地は甚だ廣く其の栽培又大規模の經營に適す、本島將來に於ける重要輸出産物として注目すべきものなり、珈琲栽培の適地としては「ラナオ」「アキドノン」「コッタバト」「ンウエバ」「ベスカイア」及「マウンテン」「プロビンス」等の地方なり、之等の地方は比島に於ける珈琲産出の中心たるに到らん。

世界に於ける栽培護謨は一九〇〇年初めて行はれたるものにして其後一九〇五年には三萬ヘクターに増加し、一九一〇年には三十一萬四千ヘクター、一九一五年には五十五萬一千ヘクターと成りぬ、世界市場に於ける護謨は其の大部分栽培護謨より得たるものにして近時野生護謨は行詰りの状態にあり、世界に於ける栽培護謨の産地は東熱帯地なる錫蘭、馬來聯邦、蘭領東印度等なり。

北米に於ける護謨は主として亞細亞及亞弗利加に於ける英領殖民地「ブラジル」及蘭領東印度等より輸入せらる。

比島に於ける護謨栽培の適地は「ミンダナオ」にして殊に「ダバオ」及「コッタバト」最適なり、其他「バシラン」「スルー」群島及南「パラワン」に於ても佳なり、颱風の圈内にある「ミンダナオ」の東北部を除き其他の地方は年中の降雨平均し土壤肥沃にして該樹

の生育に好適なり、斯くして之等の地方に於ける護謨栽培の普及に依り比島重要輸出物産の一たるに到らん。

次に北米合衆國へ輸入する藍綫「サゴ」綿、蠶「カボック」蓖麻、ランパン、グ油、蜂蜜、及蜜蠟絹絲に就て一考の要あり。

米國に輸入する藍綫は主として支那、印度、日本より仰ぎ其の少量を比島より輸出するに過ぎず、爪哇、印度、日本及支那は戰亂勃發以來其の産額を増加するに到れり、比島に於ける藍綫生産の將來を考ふるに元來其の栽培容易製造簡單なるか故に其の奨励に力むるに於ては將來の發展期して待つべきものあらん。

眞の「サゴ」椰子は「ピヤヤス」の一部及「ミンダナオ」に於て野生す、而して「キヤツザバ」は比島到る處に於て栽培作物として最もよく栽培せられ居れり、「サゴ」又は「タビオカ」は何れも比島に於ては大なる生産を爲す事能はず、北米合衆國は海峽殖民地及蘭領東印度地方より毎年輸入しつゝあり。

北米合衆國は綿の輸出國として著名なるが之と共に又綿の大輸入國として知らる之等の輸入綿は多く埃及より仰げり、最近「カリホルニア」に於ては之等の綿の栽培を初め其の成績佳良なるものあり、其の或種の綿は一疋三三〇「ペソ」以上の價

格を唱へらる。比律賓の氣候、土壤は此種綿作の栽培に全く適當せりと稱する事をべく唯病蟲害敵に對し適當の驅除豫防を講ずれば可なり。從來比島に於ける綿作は病蟲害のために全く絶望と認められ居たり然れども現今、カルホルニア産の棉花は其の價高價にして必ずや將來有利なる作物たるに到らん。

米國に輸入せらるる「カボック」は主として蘭領東印度より輸出す。此の作物は比島に於ても屢々其の有利なる事唱へられたるものにして唯該樹を栽培作物として耕作する事は推奨し難きも圃場の境界等に之れを栽植するに於ては輸出品として將來有望なる物産たるを得ん。

米國に輸入する苧麻は殆ど印度より其の全部を供給す。此の作物は農作物の不適なる地に於ても尙能く之れを栽培するを得るの特點あり。

米國に輸入する蠶は「ジャマイカ」英領西亞弗利加及英領印度より供給せらる。此の作物も比島に於ては其の栽培容易なる作物にして殊に古々椰子園の間作として適せん。

米國に輸入する胡麻は砂糖菓子及「サラダ」油の原料として殆ど二二五〇〇〇疇に達す。而して以上の用途に對し最も良好なるは土耳其種胡麻にして其の價も高

ク「ニューヨーク」に於て支那種一七五〇「ベツ」二四二〇「ベツ」の時此種は「百疇」二六五〇「ベツ」一四八五〇「ベツ」を唱へらる。

米國及比島に於ては落花生は支那及日本より輸入せらる。比島に於ける栽培を奨励すべき事必要なり。

「ブラジル」胡桃は殆ど「サツカシア」に類するものにして同種に比し更に其の品質優良なりと稱せらる。本種は比島「ミンダナオ」「パラワン」「タイヤバス」「ピコール」「プロビンス」「サマール」「レーテ」「スルー」群島及「バシラン」等に於て必ずや好適なる作物なり。然れども其の樹の生長遅き故に其の發達は遅々たるべく種苗の輸入困難なるの缺點あり。

蜂蜜は「キューバ」「ポトリコ」及布哇等其の産額多量にして輸出額又多大なり。一九一七年「ポトリコ」に於ける蜂蜜の輸出額は二一、二〇〇〇「ベツ」布哇は同年中一二五、〇〇〇「ベツ」を輸出せり。今後比島に於ける蜜蜂業の發達は多大の期待を望み能はざるべし。

米國へ輸入する絹絲は日本、支那及伊太利を以て最とす。比島に於ける養蠶業に適せる地方は其の面積廣く發達困難ならざるべし。養蠶業は婦人及小兒に依りて營み得らるるものにして比島に於ける養蠶業は未だ其の發達の域に達せず。

一〇 結 論

以上數節に互りて吾人は過去九箇年間に於ける比律賓群島に於ける農業の發達と將來に於ける發展に就て敘述を試みたり。

即ち比島農業の發達は今後尙改善すべき多くの事項あり有利なる産業として其の地歩を穫得し得べきもの少なからざると共に更に今後他の熱帶諸國に於けるが如く農業の開發と農産物の増産を行はんと欲せば須らく資本の投下を行はざる可からざるなり。

比律賓事情の研究者は何れも米國の占領以來諸種の方面に於て改良發達に努力したる事を知る然れども更に又爪哇スマトラ及馬來聯邦等に於ける英蘭兩國の殖民地に於ける農工業が更に急速なる發達を爲したるかを考へざるべからず。斯くして之等の各殖民地に比し比島は氣候及土地の沃土決して優るとも劣らざるの状態にあるも資本の投下あるにあらずんば前諸國に比し之等の産業の發達は劣る事數等なるに到らん之等に就て考慮行はれ比島に於ける農業的企業興るに到らば比島産業の發達は偉大なるものあらん比律賓に於ける住民は米國資本家の比島産業に關して研究投資せん事を切望し歓迎しつゝあり。(八九、七、二五)

4190
36

49230

購 入

衆議院
17.11.25
圖書館

大正九年九月二十日印刷
大正九年九月二十二日發行

(以印刷代筆寫)

不許複製

譯者 田 中 秀 雄

發行者 伊 藤 憐 之 助
臺北城南街四丁目十四番戶

印刷人 遠 藤 祐 太
臺北撫臺街二丁目百四十六番戶

印刷所 臺灣印刷株式會社
臺北撫臺街二丁目百四十六番戶

臺灣總督府構内

發行所

南洋協會臺灣支部

構内電話八九番

神山圖書店

200

南洋叢書

- 第一卷 比律賓群島に於ける護謨栽培
- 第二卷 蘭領スマトラ島の護謨園(定價金二十錢)
- 第三卷 比律賓群島の開發
- 第四卷 暹羅國の稻作及精米業(定價金四十五錢)
- 第五卷 緬甸事情(定價金壹圓)
- 第六卷 タワオ地方に於ける開墾事業(定價金五十錢)
- 第七卷 比律賓群島に於ける古々椰子
- 第八卷 蘭領東印度に於ける灌漑大要
- 第九卷 比律賓群島に於ける農業の發達と對米貿易の關係

南洋渡航須知

越村長次編
 特價金貳圓
 郵税金八錢

南洋協會臺灣支部分發行

終

